

山口県 人・農地プラン作成事例

山陽小野田市

全戸参加型法人が中山間地域の農地を守る！

プラン名	厚狭地区（平沼田集落）人・農地プラン
プラン範囲	山陽小野田市 厚狭地区 該当集落（平沼田）
プラン決定日	平成 24 年 4 月 12 日
中心経営体	農事組合法人 和の郷（構成員 30 人） 農地集積面積：現状（H23）0 ha、将来（H28）16.2ha 集積率：85%
連携農業者	16 人、提供予定農地面積 16.2ha
今後の地域農業のあり方	複合化、コメント：水稻中心の作付に加え、麦・飼料作物、野菜（かぼちゃ、ブロッコリー）の作付を行い、経営の複合化を図る。

1 取組経緯

- ◆ ほ場整備を契機にして、法人の前進となる機械利用型の平沼田営農組合があった。
- ◆ 法人「和の郷」の設立に併せて、同時進行でプランが作成された。
- ◆ 平沼田集落では、中山間地域等直接支払制度の集落協定にも取り組んでいる。

2 プランの特徴等

- 中国四国地方第 1 号のプランとなり、各種情報で多数紹介されている。
- 中心経営体の法人「和の郷」は全戸参加型法人で、集落内の農地集積率は 85% と非常に高い。
- おひろめ式を行うことで、マスコミを通して、プラン、中心経営体の周知を図っている。

3 プランの取組効果

- ◇ 農地集積協力金 1 1 戸、規模拡大加算 16.2ha
- ◇ 規模拡大加算分は、中心経営体の次期農業機械の購入資金として積立てられている。
- ◇ 集落ぐるみで農地をバトンタッチする仕組みができ、将来が安心である。



法人所有の農業機械



おひろめ式記念撮影